



さくらんぼ

仏教婦人会連盟
寺院女性会連盟

合同機関紙

発行所：

新潟教区教務所
長岡市与板町
与板乙 4356
Tel (0258) 72-2120
F (0258) 72-2536

心に染みた仏婦大会

元上組 専徳寺門徒 近藤きよ子
(コール・アソカ会員)

第三十七回仏教婦人大会に参加させていただきました。託念寺ご住職様の、あたたかく慈愛に満ちたご法話と、阿弥陀寺坊守様の素晴らしい絵本語りにすっかり魅了されてしまいました。

第二部、いのちの歌コンサートでは、心に響く金子みすゞさんの素晴らしい詩に、山崎浩様がメロディーをつけて、ご夫婦で息ピッタリに歌われたり、お話しをして下さり心の底から慈しみを感じました。笑ったり、涙したりしながら、なお一層仏様にお参りしたいと思えました。本当に心のこもった素晴らしい会でした。私もコーラスに参加し、記念の品のテイッシュケース作りを手伝わせていただきました。大勢の方と一緒に心をこめて丁寧に仕上げました。

有難いご法話を聞いたり、仏婦の先輩方々を見て私が感じ、学んだ事を、自分も微力ながら子や孫に伝えていこうと思えました。参加させていただき、有難うございました。



仏さまの前で楽しく歌いました

元上組 専徳寺門徒 山口綾乃
(アソカジュニア会員 5年生)

私は、とても緊張したけれど、すばらしい発表会だったと思います。お寺での練習では、歌の音程に気を付けて歌うことを心がけました。

与板のお寺での練習のときは、広くて声がひびかないので大きな声で歌いました。本番の与板のお寺の発表会では、満席だったので、さらに緊張しました。でも、大きな声で堂々と歌いました。緊張したけれど楽しかったので、また与板のお寺で発表会をしたいです。



アソカジュニアとして歌ってみて



元上組 専徳寺門徒 佐藤穂乃香
(アソカジュニア会員 5年生)

アソカジュニアとして歌ってみて、とても楽しかったです。朝、みんなと練習をしただけで、とても緊張したけど、間違えず楽しく歌えました。

私はアルトパートで四人しかいないけど、声をしっかりお腹から出して歌えました。ほかのチームの方たちからも「がんばって」などと声をかけてもらえて、本当にうれしかったです。

今回、参加することが出来て自分のためにもなって、いい体験が出来ました。



仏婦参拝研修に参加して

長岡組 了覚寺門徒 佐藤キク

七月二十日(水) 国府別院・恵信尼公廟所参拝研修バスの旅に参加しました。大人二十四名、子ども一名、いざ上越へ!

上越方面へはドライブで度々出かけますが、お寺巡りは初めてです。車中、前回参加された方々はこぶしの木の成長を心配され、会長さんは、こぶしの実を皆さんに見せて下さり「実がつくの?ブローチみたいだね」などと会話が弾みました。

国府別院に着いてからは、以前こちらに赴任されていた藤田教務所長から関西弁で国府別院・五智国分寺などの詳しい説明を色々してもらい、旅を盛り上げて頂きました。

親鸞上陸の地「居多ヶ浜」では、風は強かったですが夏の海を眺める事ができました。上陸当時の天候や暮らしなど考えながら偲んでみました。親鸞聖人として出発されたすごい所が新潟県にあり、その地に今立っている事に、不勉強な私は感動しました。

最後に、こぶしの里・恵信尼公廟所に向かいました。真新しい御廟所でお念仏を唱えながら、正面の両側に飾られた青い下地に大きな白いこぶしの花の絵に、心が穏やかになり癒された気がしました。その後、こぶしの並木(実もしっかり付いていました)の奥の五重塔(寿塔)に手を合わせ、記念写真を参加者全員でパチリ!

板倉町有志、門徒、全国仏婦会などの協力で整備され会館も建立、大切にされている地である事を知り、沢山の事を学び、偲んだ旅になりました。良いご縁を頂き感謝いたします。



会話の弾む「ちまき作り」

与板組 明元寺門徒 山崎紀子

与板組仏教女性会研修会では、押し花を使つての作品作り、布教使さんからの法話にと、毎年皆様に楽しんで頂くこうと知恵を出し合っ

ています。昨年度は醤油赤飯作り、今年度は「ちまきを作ってみたいね!」との話になりました。二年間食べ物を紹介し、作る時の笑顔、真剣顔、食べてる時は皆さんの話しに花が咲きました。食べ物のご指導は二回とも安達会長さんからの導きで、共に大盛況となりました。私も六十数年ちまき作りを知らず、本番前に笹の扱い方、すげの巻き方を習って当日を迎えました。

当日は三十数人が集まり、中には私のように初めての方もおられました。役員が手ほどきをしながら、真剣そのものの方、余裕の方、「笹の葉は表をどっちにむけるのですか?」「すげ巻もなかなかうまく巻けないね!」と様々な声が飛び交って、それは、それは賑やかで、ちまき作りに決めて良かったと思えました。

山すげがある事、畳屋さんで売っている事など初めて知り、私自身学ばせて頂くところが多く勉強になりました。最近ではこの様な食べ物を作らなくなって来ています。もし、子どもや孫と一緒に作る事があれば会話も出来て良き思い出となるでしょう。

ちまき試食会の会話の中で、土地によつてちまきの呼び名が違う事も知りました。私の育った旧大津村では「ひしぢまき」、他では「三角ちまき」など、広くなった長岡市ではの違いでしょうか。一人五個のちまきを家へのお土産として持ち帰りました。多くの皆様のご参加、ご協力により楽しく実のある時間となり、感謝の一日でした。



三条組みのり会研修旅行

三条組 福勝寺坊守 黒田吉佐子

昨年九月二日「長岡・仏壇づくり見学」の旅程でみのり会日帰り旅行が開催され、参加させて頂きました。参加人数は十九人となり、大型バスにての移動で車内では皆会話を楽しみながらの研修旅行でした。

みのり会は、三条組が平成十年第二十八回教区仏教婦人大会の主管組として活動した後に発足した会です。当初から組仏婦連盟は無く、単位仏婦寺院だけでなく各組内寺院の協力で活動していましたが、大会開催に当たって住職方々のご協力も頂きましたが、女性のみの(門徒・坊守)企画運営としたことで、この流れを今回限りにはせず継続していこうという思いで、門徒・寺族の合同の会として研修や親睦を兼ねた旅行などの活動をしています。

当日は天気も良く数か所の集合場所でバスに乗車。まずは長岡・廣川仏壇店さんにて下車。恐縮するほどの手厚い歓待を受け、工房を見学させて頂きました。長岡仏壇の解説や仏具の修理、繊細な金箔の扱い、漆の温度湿度の管理など高い技術が必要なことが感じられました。丁寧に仏具を扱い、お莊嚴を整えることの大切さを知らされました。次に向かったのは県立歴史博物館。「親鸞となむの大地」以来でしたが常設展示など見残した所もあり、もう一度訪れたいと思っていたので、企画展のお菓子と新潟の展示と合わせてゆっくり見ることが出来ました。意外に知らない新潟の季節のお菓子など、楽しい時間は早く過ぎるもので、お腹の虫も騒ぎ出した頃、昼食の朝日酒造さんへとバスに乗り込みました。昼食はそば定食。香り高いそばを美味しく頂きました。

午後は田中角栄記念館へ。丁度遺墨展が開催されており、角栄氏の達筆ぶりと人柄を表わす堂々たる書体に感心したのですが、記念館が小さいのが意外でした。

その後は江口だんごを訪れる予定だったのですが、店側の都合でかなわず鎌田養鶏さんへ。各々ケーキなどのお土産を購入し三条方面への帰りの乗車となりました。下車の度に皆笑顔で「では、またね」と手を振り世話人さんに感謝しつつ帰路に着いたのです。お法のご縁での出会い、やはりお別れは「では、またお会いしましょうね」ですね。

若婦人中央研修会に参加して

長岡組 長永寺門徒 坂田悠子

以前、家族で京都旅行へ行った時です。翌早朝、父はいそいそと着

替え部屋を出て行きました。「朝早くから、どこへ行くのだろうか?」、行った先は、『晨朝参拝』でした。母と後を追って本山へ向かいました。終わりにかけていきましたが多くのの方が手を合わせていました。

そんな事もあり、この度、「若婦人中央研修会」に参加させていただきました。恥ずかしながらお寺のことは無知識です。お寺といえは格式が高く、唯一足を運ぶときは、お盆とお彼岸の時です。そんな私ですが、研修会ってなんだろう?どんなお話を聞かせて頂けるのだろうか?と、興味津々で受けてきました。

自分が最年少と想像をしていましたが、会場には大学生の方から、年齢の幅が広く全国の代表の方も集まっています。体験者の発表から始まり、各班に分かれオリエンテーションがありました。地方によってお寺の風習が異なっていました。婦人会の世代交代が出来ないところ。幼いときから仏教に触れ、お寺を身近に感じている方。保育園に通うお子さんが作法を知っており、それを教えてもらっているお母さん。普段の生活では味わえない地域の方々と「お寺を通じて」交流を持てた楽しい時間でした。翌朝、『晨朝参拝』がありました。お御堂に響き渡るお寺様のお経がとても素晴らしく、心に残りました。

学生の頃と比べ、悩むことも多くなりました。身も心も柔らかに対応し、多くの方々に支えられ守られていることを忘れずにしよう。まずは家のお仏壇に手を合わすことを一日のスタートにしようと思いましたが。前門様様の書かれた本に、『不安や迷いは当たり前、背伸びせず毎日を精いっぱい生きればよい。』この言葉を心がけていきます。素晴らしいご縁がありがとうございました。



伝灯奉告法要団体参拝に参加して

巻組 光西寺坊守 丹羽和江

十月二十六日巻組団参で第二十五代専如門主伝灯奉告法要に参拝させていただきました。

法要に間にあうよう早朝五時集合。まだ真つ暗な中バスに乗込み京都を目指します。移動はとても順調。予定どおり本願寺へ到着しました。十月末の京都は暑いくらいで境内では天然記念物の大銀杏が青々としていました。記念撮影後、入堂です。この日の参拝者は千七百名以上。巻組の席は阿弥陀堂でした。残念ながら正面ではなく、御影堂からの中継もあつたので、モニター中心で拝見しました。

大人数による雅楽は雅で感動的でした。喚鐘が聞こえてくると期待も高ぶります。ご門主様が入堂されると緊張感も漂い益々荘厳な雰囲気。お勤めは『奉讃伝灯作法』。この法要のために制定されたそうです。音楽法要の要素もあり耳に心地良かったです。正信偈の途中でご門主様と前門様のご転座があり特別な法要ということを感じました。お堂に響く大勢の方の読経は荘厳で、この場にいられたことが有難かったです。拝読文を唱和し、私も「阿弥陀仏の薬を好む身」だと思いました。

『伝灯のつどい』では大谷宗家の皆様がお揃いになりました。お子様方が愛らしく和ませていただきました。『恩徳讃』斉唱で最後となりましたが身の引締る思いで歌わせていただきました。

翌日からは観光です。特に姫路城は青空に映えまさしく『白鷺城』とても綺麗でした。天守閣からの眺めは格別で、ご一緒したご門徒さんは「ここに來たくて足腰を鍛えていた。」と喜んでいらつしやいました。

次の伝灯奉告法要を見ることは多分できないでしょう。親鸞聖人の七五〇回忌の時も思いましたが、大きな法要に参拝することのできるご縁をいただき、本当にありがたく思いました。これも阿弥陀様のお働きと喜びながらお念仏させていただきました。



良寛さんをたずねて Ⅱ 和島・出雲崎の史跡をめぐるⅡ

長岡組 西楽寺坊守 春日瑞恵

昨年十一月十五日、時折小雨降る中、長岡組仏教婦人会二十一名を乗せたバスが良寛さんゆかりの地「和島・出雲崎」へと向かいました。まずは、良寛さんが晩年を過ごした和島島崎隆泉寺様を訪ねました。本堂にご案内頂き、讃仏偈を唱和、上戸ご住職による良寛さんにまつわるご法話をいただきました。本堂は素晴らしいお荘厳で、ご住職やご門徒の方々が、丹精込めて育てられた大輪の菊花が見事に咲いて、まるで良寛さんが微笑んでおられるように感じました。一時間程の滞在でしたが、境内の大蔵経や良寛さんの墓碑についてもご住職よ



り詳しくご説明いただき、深く感銘を受けながら隆泉寺様を後にしました。昼食は、「和島トゥールモンド」へ。丘の上に立つ旧島田小学校をリノベーションしたレストランです。地産地消をコンセプトとした厳選された食材を使った一品一品に感激しながら、美味しくいただきました。午後は雨風も強くなってきたものの、一路出雲崎の良寛記念館へ。良寛さんに関する資料や詩歌、遺墨などの貴重なものを拝見しました。最後は、良寛さんの生家橋屋山本家の屋敷跡に立つ良寛堂へ。もう目の前は日本海。良寛さんの母の生誕地佐渡を背景に海に浮かんで見えるように設計された浮見堂は、素朴な中にも凛とした佇まいでした。車窓から見る晩秋の出雲崎の風景を、良寛さんもご覧になっていたのかなとあれこれ思いを巡らせながら帰路に着きました。思い出に残るよい旅となりました。

合掌

明鏡寺仏教婦人会と私

元上組 明鏡寺門徒 中静イツ子

平成九年十月、私は門徒推進員中央教修を受講いたしました。その時代にも今と同じく学校のいじめのことなどが社会問題としてありましたので、私は「お寺へ行こう」と叫びたいと思っておりました。何か私に出来る事はないのだろうかと思っていたそんな時、お寺の屋上のベランダで布団を干していた人からの声が聞こえてきました。いつ壊れても不思議でない私に、明鏡寺坊守様が「時々旅行みたいな事もあるけど、元上組仏教婦役員をやってみないかね」と声をかけてくださったのです。何も分からない私が門徒役員第一号です。元上組坊守一丸となって、何かあれば元上組の坊守が付いているからと勇気を頂きました。当時は夢中で「信心一つで勤めさせていただきます」と挨拶したのでした。そのことが、どんなにか重大な言葉とも思われないのでした。それがあれば何とかなるとの思いから出た言葉でした。

その後、仏教婦人会総連盟の評議員となり会議に出た時はいつも寺の坊守、組の坊守、教区の仲間を信じ、いつも一緒と思いつつ勤めさせていただきました。重大な言葉であった「信心一つ」それを気づかせて下さいましたのは、昨年六月二十二日日本願寺聞法会館で開かれた「みのりの会」その研修の法話でした。

たとえ話ですが、寺を病院とするならばお説教は信心の薬。寺に住む人坊守は入院患者、時々お寺参りに来る人は外来患者、入院患者は特に強い薬を飲まなければならぬし、目を離すことが出来ない重症患者なのです。と昔の法話にありましたとお話しされました。強い信心をもっておられるのは坊守様であったのです。時々分けてもらわなければ、私達はその薬は飲めないのです。坊守様、どうか仏教婦人会（友達の輪）の核になる人にお声掛けいただきしたいと思います。

懇親会では、前総裁様と個々にお話しする機会がありまして、別際に「仏教婦人会ががんばってください」と申されました。皆様へのエールとも思えますので、ここでお伝えいたします。

明鏡寺仏教婦人会は、檀家制度の名残から平成十四年まで年会費は一戸二百円で、平成十五年度からは会員名簿を作り、会費は一名三百円にしました。会長、副会長、会計、研修ターナ委員会、めぐみ広報委員会、慈育委員会の組織です。女性が目的を持ち、快く家族に見送られて寺にお参り出来るよう、それぞれの委員長と委員が活動計画し運営しています。そして仏教讃歌を歌う会は、現在の十九代目の住職様で始めましたので十九日です。その日は、実践運動のことも鑑み、月々の法語「迦羅羅塾編」を安芸教区から毎年取り寄せて皆で大きな声で音読しています。総会では、各委員会から活動報告、会計報告、法話、地域の方や会員の踊り・歌など、そしてターナ委員会のバザーが毎年開かれたすけあい募金されます。教区、組、寺の行事参加、念仏清掃奉仕や年末研修会（ぜんざいの振舞い）も開催されています。組織の役員経験者は平成十五年度から二十八年度で九十名以上になつてきました。役員にならなければお寺には来ない方もあったと思います。現在では次々に役員さんが活躍されて本当に有難いことです。

これからの課題ですが、任期が終わって卒業のようになってお寺に来る機会が少なくなつてしまいがちです。私は平成二年から平成二十二年まで明鏡寺仏教婦人会役員として携わってきました。組織から離れたことから見えてきたものがあります。そして、昨年四月、明鏡寺田中信子会長から「総連盟総会と一緒に行きませんか」とお声掛けいただき、ご一緒いたしました。大風で立ち往生した新幹線の中で、初対面の安達会長さんはじめ皆さんに声を掛けていただかなければ不安でしたのに、無事京都に夜七時半に到着、皆仲間では無いことを気付かせて頂きました。阿弥陀様は、拝まないものでも拜んで下さっていること、いつもはたらいいて下さっていることを思えば、『阿弥陀様がよんでおられるので、お寺に参らせて頂きました』という言葉がそれぞれの口から出るように私も変わりました。そのような地域にしていききたいです。



平成28年度活動報告

与板組

★与板組寺院女性会

① 6月8日(火)

日帰り研修旅行

モノ展鑑賞と食事会

② 7月3日(日)

研修会

「寺院過去帳に類する帳簿の開示問題」から見えてきた課題

懇親会・食事会

★与板組仏教婦人会

① 6月12日(日) 会場：新潟別院

総会・研修会・別院清掃奉仕

法話：巻組 一心寺 田子祐子先生

② 9月19日(月) 会場：新潟別院

研修会(1) 料理教室(ちまき作り)

講師：女性会役員

③ 2月19日(日) 会場：新潟別院

研修会(2) 育ちあういのち

内容：仏教讃歌を学ぶ

講師：永井優子先生(長岡市・声楽家)

長岡組

★長岡組寺院女性会

① 11月16日(水)

長岡組寺族婦人会研修会

テーマ：「Wrong Life

「選別されるいのち」

講師：法性祐正先生

参加者：六名

② ボランティア活動

毎月第一木曜日 まちだ園(特養)にて

タオル・ビニール袋たたみ、縫い物等

③ リサイクル活動 使用済みローソク収集

④ 長岡組聞法会への参加

春季：6月17日(金)

秋季：11月10日(木)

⑤ その他、教区研修会への参加

★長岡組仏教婦人会

① 11月15日(火)

長岡組仏教婦人会研修バス旅行

「良寛を訪ねてー和島・出雲崎をめぐる秋の一日」

参加者：21名

元上組

★元上組仏教婦人会連盟 総会

6月18日(土) 会場：極楽寺

法話：極楽寺 麻田秀潤先生

★元上組寺院女性会連盟総会・懇親会

6月21日(火) 会場：トラパニ

★さわやか法話会

7月2日(土) 会場：専徳寺

テーマ：子ども若者へ縁づくり

講師：専徳寺 佐々木崇史先生

★仏壮・仏婦合同研修会

7月4日(月) 会場：魚豊 参加者40名

★第37回新潟教区仏教婦人大会(元上組主管)

10月29日(土) 会場：新潟別院参加者
テーマ：次の世代へ伝えよう

念仏の声といのちの尊さを

★元上組寺院女性会連盟反省会

2月20日(月) 会場：明鏡寺

28年度活動・会計報告・幹事選出

三条組

★三条組みのり会(仏教婦人会・寺院女性会)

① 総会

4月14日(木) 会場：ワシントンホテル

27年度活動・会計報告

28年度活動計画

② 研修旅行

9月2日(金)

廣川仏壇店工房見学を中心に長岡地域の

日帰り旅行

地藏堂組

★① 1月28日(水)

役員選出を兼ねた食事交流会

新潟組

★新潟組寺院女性会連盟研修会・懇親会

4月12日(火) 会場：光林寺

講題：過去帳・身元調査に関して

講師：巻組 妙光寺 井上慶永先生

参加者：8名

★新潟組仏教婦人会連盟総会

6月14日(火) 会場：金照寺

講題：大いなる御手の中で

講師：与板組 光源寺 清水正朋 先生
参加者：40～50名

★新潟組仏婦・寺院女性合同研修旅行

11月9日(水)

新潟別院常例法座参拝・寺泊にて昼食

講師：国府教区 山崎準勝 先生

参加者：45名

★新潟組合同研修会

3月10日(金) 会場：光林寺

講師：桂 三馬枝 さん

巻組

★巻組寺院女性会

① 研修会

9月16日(金) 会場：源昌寺

第一部 講題：過去帳及び過去帳に類する

帳簿の取り扱いについて

講師：妙光寺 井上慶永 先生

第二部 コーラス練習

講師：小林綾子 先生

② 研修会

10月5日(水) 会場：明誓寺

コーラス練習

講師：小林綾子 先生

③ 10月6日(木) 会場：新潟あそか苑

ビハール法話会コーラス

(コーラスの発表)

④ 2月下旬開催予定

総会 会場：カーブドタッチヴィネスパ

★巻組仏教婦人会連盟

① 専如門主新潟別院御巡拝法要：団体参拝

5月11日(水) 会場：新潟別院
② 巻組仏婦連盟研修総会

6月13日(月) 会場：長厳寺

法話：長光寺 伊藤教恵 先生

お知らせ

★新潟教区仏教婦人会連盟「総会」

期日：平成29年5月30日(火)

会場：本願寺新潟別院

講師：花岡静人 先生(総連盟講師)

★第二六回若婦人中央研修会

期日：平成29年11月11日(土)

12日(日)

会場：伝道本部

参加者：45歳までの仏婦会員(教区2名)

★本願寺新潟別院報恩講

期日：平成29年6月25日(日)

27日(火)

講師：三寄霊証 先生(福井教区)

◎仏教婦人会でバザーを開催いたします。

担当組は長岡・元上組です。バザー用品

がございましたら、6月16日(金)まで

にご協力お願い申し上げます。

【平成29年度 仏教婦人会総連盟活動方針】

一、スローガン

念仏に生かされるよろこびを行動へ

二、活動方針

阿弥陀如来さまのお慈悲を仰ぎ、お念
仏とともに、あらゆる人々が心豊かに生
きることできる社会の実現に貢献す
る。

三、重点目標

(1) 聞法につとめ、念仏のよろこびを伝
えていく。

(2) 現実の社会問題である平和・差別・
環境問題に積極的取り組み。

(3) 御同朋の社会をめざす運動(実践運動)
に積極的に取り組む。

(4) 東日本大震災・平成28年熊本地震を
はじめとする被災地の継続的支援活動
を実施すると共に、災害に対する意識
啓発を行う。

(5) 「子ども・若者」縁づくりキッズ
サンガをさらに「」に積極的に取り組
む。

(6) 第25代専如門主伝灯奉告法要に参
拝する。

(7) 恵信尼さま七五〇回忌法要に向けた
参拝奨励および周知につとめる。